

利用成果報告書

令和 6 年 8 月 2 3 日

防災研究所長 殿

[利用代表者]

氏 名 野村 洋文

職 名

所属機関名 エヌパット株式会社

所在地 大阪市港区海岸通 4 丁目 4 番 1 0 号

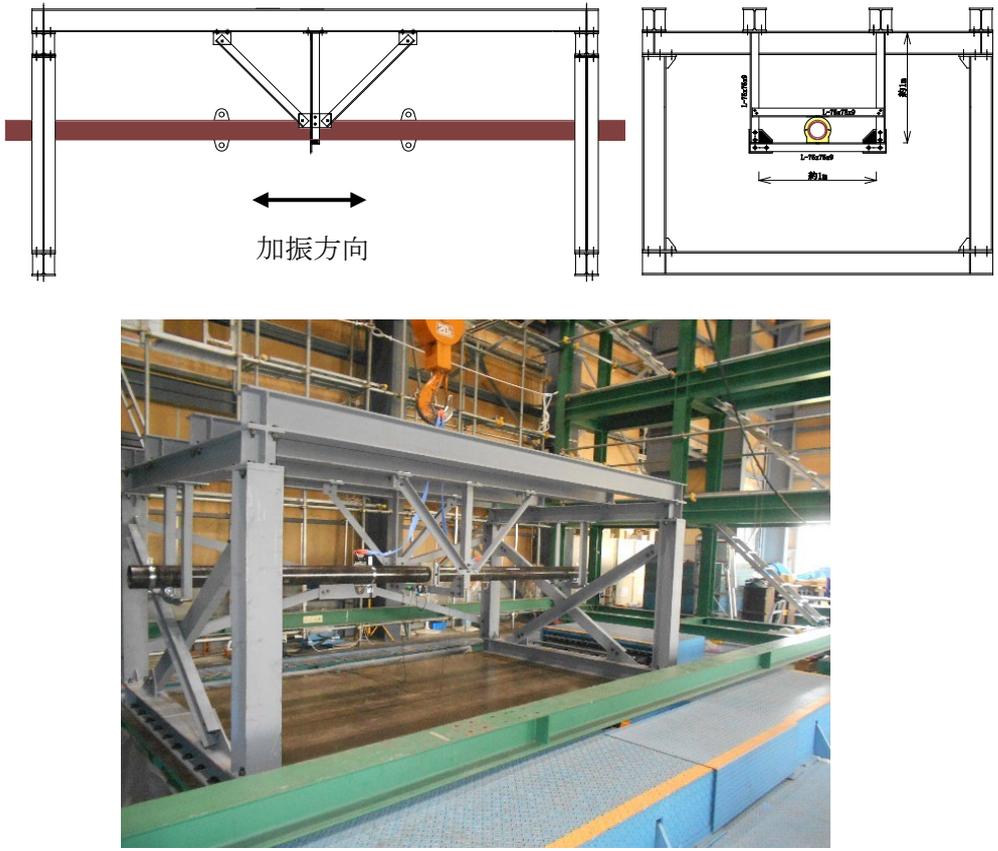
電 話 06-6576-5101

F A X 06-6576-5103

E-mail アドレス nomura@n-pat.com

利用目的	設備配管の耐震支持に伴う合理化工法を検討するため、横引き鋼管に耐震対策を行って実際の地震動を加え、効果の有無の検証を行った。
利用形態 (該当する項目を■にし てください)	<input type="checkbox"/> トライアルユース <input checked="" type="checkbox"/> 成果公開利用 <input type="checkbox"/> 成果非公開利用
利用期間	令和 5 年 3 月 2 0 日 ~ 2 4 日
試験体仕様 (大きさ・重量)	呼び径 100A 長さ 5.5m 重量 125kg、呼び径 150A 長さ 5.3m 重量 350kg 高さ 1m、幅 1m の門型架台に固定した。
加振内容	告示八戸 250% K-NET 仙台波、芳賀波(東日本大震災) の 1 軸加振

次項に続く

<p>実験結果の概要と 実験により得られた 成果</p>	 <p>耐震対策を行うことにより実際の地震動に対して耐震支持として機能することが確認できた。</p>
<p>社会、経済への波及効果の見通し</p>	<p>従来工法と比べて施工性が良好で、コストメリットがある。 施工方法、施工管理、取付けディテール等を精査し今後の展開へと繋げて行きたい。</p>
<p>発生した発明・著作物など (特許名称・出願番号・出願人、雑誌掲載資料)</p>	
<p>その他</p>	

- 1) 実験終了後、速やかに(原則1ヶ月以内に)提出下さい。
提出先:京大防災研究所 社会防災研究部門・都市空間安全制御分野
(E-mail:ito@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp)
- 2) 文部科学省への評価報告が求められています。
知的財産権等の成果の追跡調査にもご協力宜しくお願い致します。